

こども
子供のインターネットバイブル
あんない
案内いたします



ギデオンの
ちい ぐん
小さな軍たい

ぶん
文: Edward Hughes
え
絵: Janie Forest

ほんやくしゃ
翻訳者: Yuko Kajiki 監修者: Dan Ellrick
しゅつばんしゃ
出版社: Ruth Klassen

60話の第15話

www.M1914.org

Bible for Children, PO Box 3, Winnipeg, MB R3C 2G1 Canada

まよひ たにん う かぞ ほんし また まよひ
許可: 他人に売らない限り このお話のコピー、又はプリントは、許可されています。

日本語

Japanese



1



2



そのとき、
ひとりのイスラエル人ギデオン
という人がいました。かれは、
だれも知らないひみつの場所で、
コムギを育てていたにち
ががありません。

3



ギデオンは、
コムギの穂のカラを取るときも、
大きな大きな木の下の酒ぶねの中で、
ひっそりと仕事をしていました。

4



だから、ミデアン人たちも、
そのひみつの場所を知らずでした。
でもね、神さまはなんでも知っていらっしや
います。もちろんそのひみつの場所もね。
あるとき、神さまは、

そこにみ使いを送り、
ギデオンに何かつた
えましたよ。

5



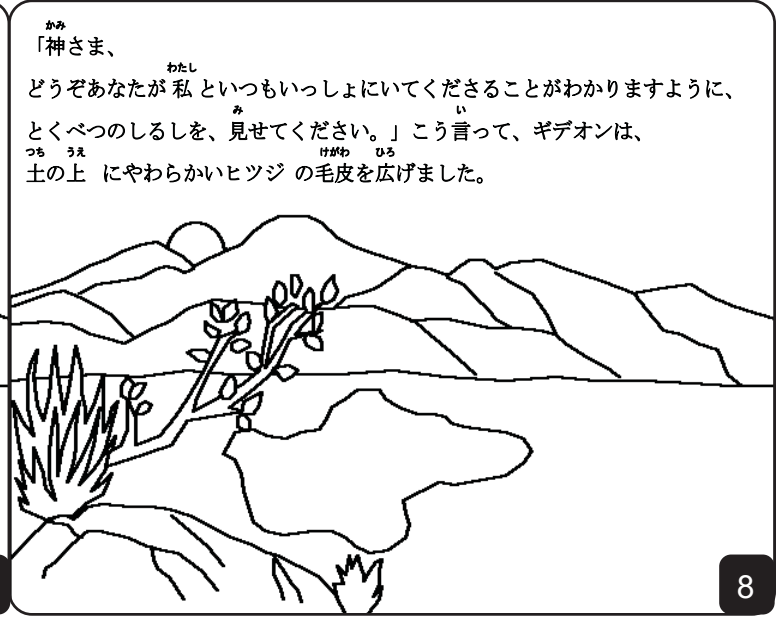
神さまは、言われました。「ギデオン、
あなたのお父さんが持っているにせの神の像をこわし、
ほんとうの神さまの祭だんをつくりなさい。」それを聞いたギデオンは、
こわくてたまりません。イスラエルの男たちが怒って、
自分をころしに来るだろうと思ったのです。
でも、かれは神さまにしたがい、
めいれいどおりにやりました。

6



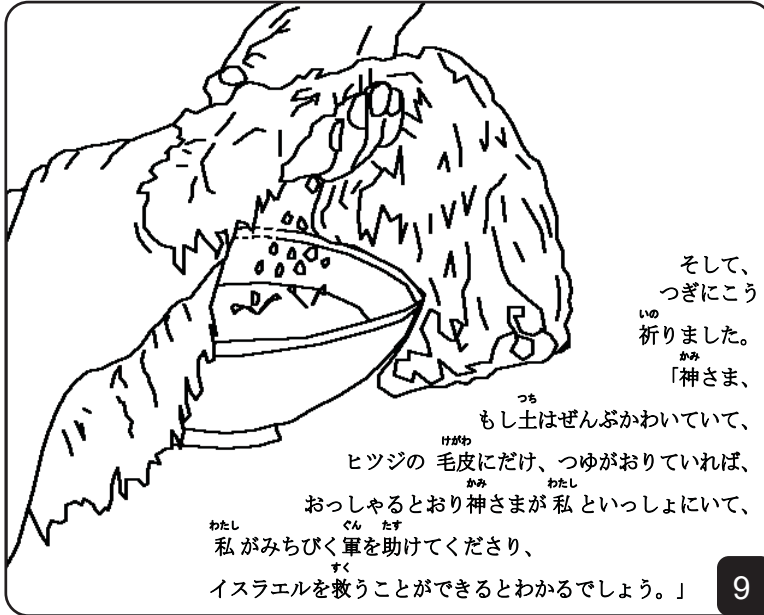
神さまは、また言われました。イスラエルの軍をみちびき、
悪いミデアン人をやっつけるようにと。けれども、それを聞いたギデオン、
やっぱりこわくてたまりません。そこで、かれは、神さまにおねがいしました。

7



「神さま、
どうぞあなたが私といつもいっしょにいてくださることがわかりますように、
とくべつのしるしを、見せてください。」こう言って、ギデオンは、
土の上 にやわらかいヒツジの毛皮を広げました。

8



そして、
つぎにこう
祈りました。
「神さま、

もし土はぜんぶかわいていて、
ヒツジの毛皮にだけ、つゆがおりていれば、
おっしゃるとおり神さまが私といっしょにいて、
私 がみちびく軍を助けてくださり、
イスラエルを救うことができるとうわかるでしょう。」

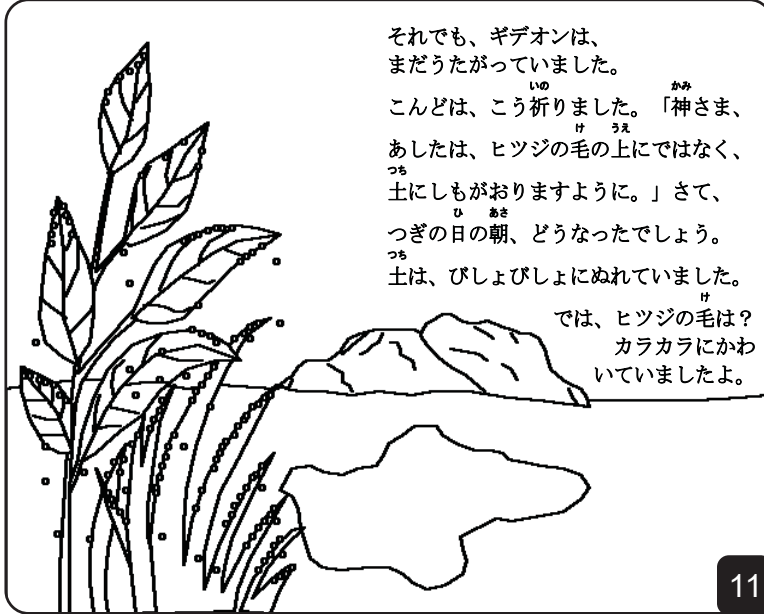
9



さて、朝になりましたよ。
土はどうなっていたでしょう？そう、

カラカラにかわいていましたよ。では、ヒツジの毛は？
雨にぬれたように、びしょぬれだったのです。

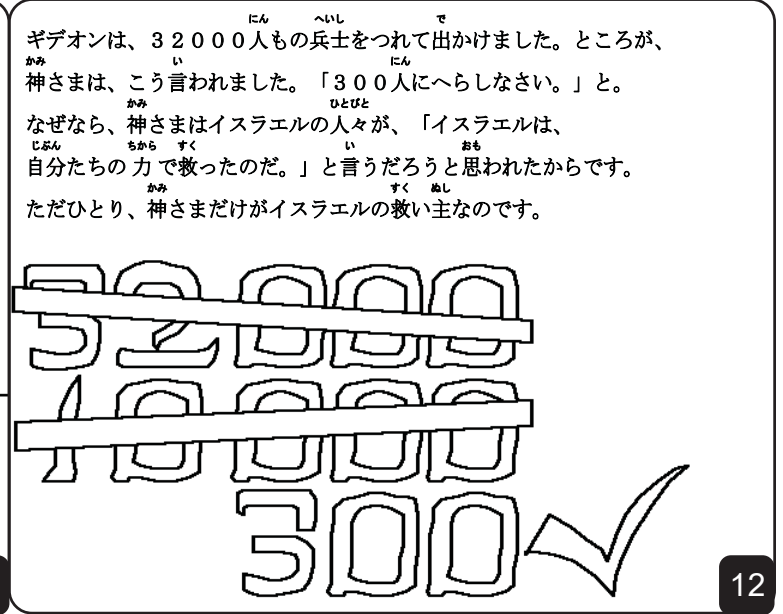
10



それでも、ギデオンは、
まだうたがっていました。
こんどは、こう祈りました。「神さま、
あしたは、ヒツジの毛の上ではなく、
土にしもがおりますように。」さて、
つぎの日の朝、どうなったでしょう。
土は、びしょびしょにぬれていました。

では、ヒツジの毛は？
カラカラにかわ
いていましたよ。

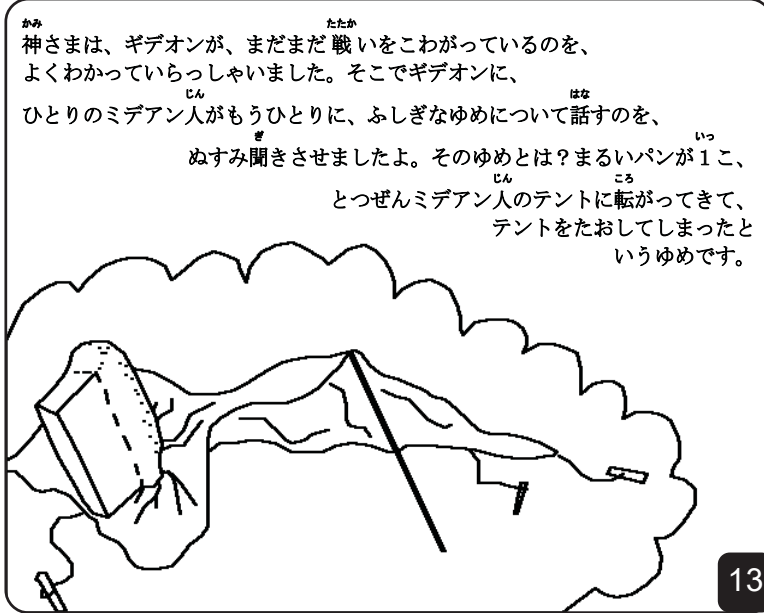
11



ギデオンは、32000人も**の**兵士をつれて出かけました。ところが、
神さまは、こう言われました。「300人にへらしなさい。」と。

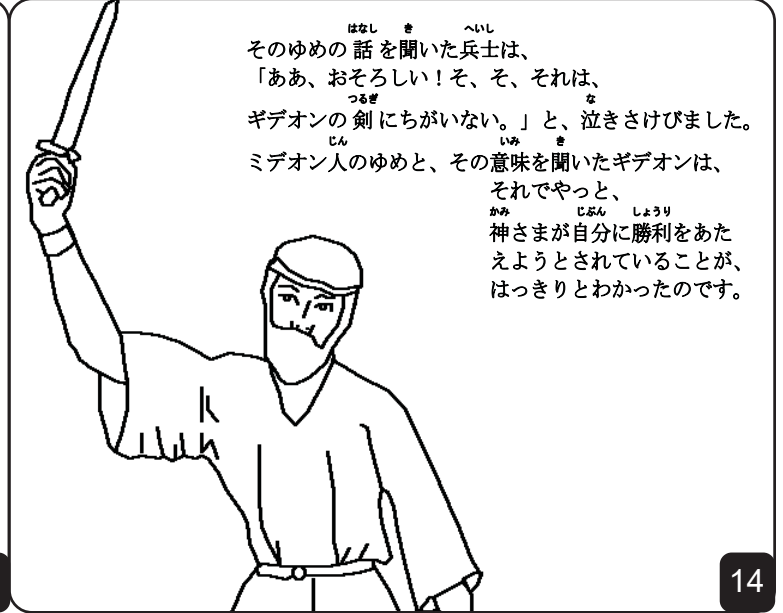
なぜなら、神さまはイスラエルの人々が、「イスラエルは、
自分たちの力で救ったのだ。」と言うだろうと思われたからです。
ただひとり、神さまだけがイスラエルの救い主なのです。

12



神さまは、ギデオンが、まだまだ戦いをこわがっているのを、
よくわかっていらっしやいました。そこでギデオンに、
ひとりのミデアン人がもうひとりに、ふしぎなゆめについて話すのを、
ぬすみ聞きさせましたよ。そのゆめとは？まるいパンが1こ、
とつぜんミデアン人のテントに転がってきて、
テントをたおしてしまったと
いうゆめです。

13



そのゆめの話を聞いた兵士は、
「ああ、おそろしい！そ、そ、それは、
ギデオンの剣にちがいない。」と、泣きさげびました。
ミデオン人のゆめと、その意味を聞いたギデオンは、
それでやっど、
神さまが自分に勝利をあた
えようとされていることが、
はっきりとわかったのです。

14



ギデオンは、夜になってから攻めることにしようと、きめました。かれは、兵士ひとりひとりに、トランペットとタイマツが入っている空っぽの水がめを持たせました。それから、ミデアン人の軍をとりかこみました。

15



いま、ギデオンが合図しましたよ。兵士たちは、いっせいにトランペットを吹きならし、持っていた水がめをぶちこわし、タイマツに火をつけました。でも、まあなんていうひどい音！そしてまあ、なんていうひどいさわぎでしょう。「助けてくれー。」ミデアン人たちは、ぶつかったり、ころんだり。叫びながらにげて行きました。

16



こうして、ギデオンの小さな軍たいは、みごとに勝つことができました。イスラエルの人たちは、ギデオンにたのみました。「どうぞ、わたしたちの国を治めてください。」と。けれどもギデオンは、きっぱりとこう答えました。

きっぱりとこう答えました。

17



「いいえ、わたしがイスラエルを、治めるのではないのです……。わたしたちの主が、治めてくださるでしょう。」ギデオンは、よくわかっていたのですね。ただ神さまだけが、わたしたちを支配してくださる力のあるお方なのですから。

18

ギデオンの小さな軍たい

神さまの御ことば、聖書に記されているおはなしです。

士師記 6 章 -9 章

あなたの御ことばが開かれると、光が与えられます。

詩篇 119:130

神さまは、私たちがよくないことをしたことを、しっぺいらっしやいます。神さまは、それを罪とよばれています。罪のむくい、死です。

神さまは、私たちをととも愛されたので、み子イエスさまをこの世におくってくださいました。そして、イエスさまが十字架で亡くされることによって、私たちの罪をとってくださいました。イエスさまは、よみがえられ天国へもどられましたね！ですから、今、神さまはあなたの罪をゆるしてくださいます。

もし、あなたがあなたの罪からはなれたいなら、神さまにこう言ってください。愛する神さま、私は、イエスさまが私のために亡くなってくださり、よみがえって、今また生きていらっしやることを信じます。どうか、私のこころの中に入り、罪をゆるしてください。それで、私は今、あたらしい命をいただくことができます。そして、いつまでも、あなたといっしょにいたることができるのです。あなたの子として、生きることができますよう、たすけてください。アーメン

ヨハネによる福音書 3 : 16

まいにち、聖書をよみ、神さまと、おはなししましょう！